

立ち上がった国大化学会

国大化学会会長 樋口 修一郎（昭和35年応化2部卒）

4月に設立された新同窓会・国大化学会は、役員皆さんの実行力と会員の皆さんのサポート精神のお陰をもちまして、設立記念総会も成功裏に開催できました。これは、新しい同窓会に対する、役員&会員の期待と愛する心の現われであろうと、とても嬉しく思っているところであります。

〈スムーズな立ち上げは出来た〉

3つの同窓会が一つになったのでありますから、まずはスムーズな立ち上げを期すことが大きな課題でありました。これはどうでありましたでしょうか。幾つかを下記しますように、役員と会員の皆さんのお陰で、見事に合格と申せると自負しています。

- ① 新たに正会員となった卒業生ではない先生方からの副会長や執行役員、学生からの執行役員を含めた、新体制が組織され万全な体制でのスタートを迎えられました。この新体制が、良い意味での緊張感を惹起し、活動面での成果に寄与大であったと思っております。
- ② 3会統合記念号と銘打った〈国大化学会会誌・第1号〉が充実した内容で発行されました。これは、お配りした学長や他同窓会の方々からもそのタイミングと内容についてお褒めを頂戴しております。
- ③ 総会等につきましては従前の開催時期11月を6月に前倒ししての〈統合記念総会・講演会・懇親会〉を成功裏に開催できました。これは役員さんの頑張りとお会員の皆さんの〈期待の心〉の現われでもあると感謝しております。
- ④ 丁度時を同じくしてスタートした〈第2回横浜国大ホームカミングデー(HCD)実行委員会〉に学生役員を含めて大勢の中核の陣容を送り込み、寄与度の向上と存在感の高揚に資しました。

等々であります。

〈これからが本番〉

3会の統合は、統合そのものが目的ではなく、より良い同窓会活動の為の手段であることは、論を待たないことであり、肝に銘じているところであります。

私たち、第1期の役員さんの任期は2年間です。既に、

- 国大化学会2ヵ年事業基本計画として、〈国大化学会会誌第1号

掲載〉。

- これを受けて、各グループが2ヵ年事業実施計画を策定しました。

という状況にありますので、これを着実に実施していくことになります。この場合には、

- まずは、3会のいいところ取りに着目しての実行が優先されましょう。

国大化学会会誌第1号が見事に、いいところ取りで大成功の具体的な事例となっていることを、示しましょう。

- 今までは、横浜応化会は新聞形式で年に2回発行、横浜電化材化会は冊子形式で年に1回発行でありましたものを、冊子形式で年に2回発行としたのであります。加えまして、トータルコストは減った、という良い話となったのであります。正しく、いいところ取りの産物であります。

〈象徴的なものは早めに実施へ〉

新しい国大化学会として、新しい施策を予定していることはいくつもありますが、その中でも新同窓会としての象徴的なものは、早期に実施に移したいところであります。その一つが、〈大学支援特別基金〉の運用であります。現在の基金額は決して多くはありませんが、早く実行に移すことで、

- 喜んで頂ける方が、早く出るようになりますので、国大化学会や基金の認知度が高まることになりまして、次回以降への期待も大となって参りましょう。
- このような具体的運用が会員の方に見えるようになれば、大学の先生や学生に〈役立っている・期待されている国大化学会〉と認知され、会員からの寄付等も増え好循環することになります。

本件の早期具体化につきましては、鈴木副会長のご尽力に期待大であります。

〈今年のHCDは〉

昨年第1回が開催されました横国大HCDは、

- 本年は、第2回として11月10日（土）に常盤台キャンパスで開催されることになりました。

今年の主担当当番は、工学部同窓会連合と工学部等の理工学系であります。実行委員長は私樋口が務めており、国大化学会から副委員長はじめ多くのリーダーや実行委員が準備に係わって頂いております。別項に詳細なくご案内がありますので、多くの会員の参加をお願い申し上げます。また、今年は予算・収支計画

が誠に厳しい状況にありますので、HCDに係わるご寄付もお願い申し上げます。

〈情報がらみ〉

国大化学会は会員数7千人弱を数える大所帯でありますので、役員を中心に的確な情報交換・情報伝達に意を払いつつ会務を進めていかなければなりません。その一つが、国大化学会のHPであり、間もなく完成・公開の運びとなります。会員とのコミュニケーション広場としての運用を期したいものであります。

もう一つは、役員を対象にした〈国大化学会役員メル

マガ〉を発行していこうと考えていることでもあります。これで、役員の担当についての事業推進の効率化と的確化を期していく運びと致します。

〈皆で〉

新しい国大化学会は順調にスタートできました。これから、会員の皆様のご意向・ご期待に応え得る同窓会としての発展を期していくことが責務であると考えます。これを実践するためには、会員の皆様の積極的参画が必須であり、心からお願いする次第であります。

同窓会活動は皆で、をであります。